

科目名	単位数	対象	必／選	0校時
化学基礎	2	1年普通科	必修	無
1. 目標 物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を化学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。(学習指導要領より)				
2. 到達目標 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う				
3. 学習のワンポイントアドバイス ① 授業では、ネオパルノートを使用し、まとめ・問題演習を行う。必ず自ら問題を解いてみる こと。 ② 基礎的なことは授業で十分に理解できるように努力した上で、個々の事柄を関連づけて体系的に身につけてゆくこと。 ③ 応用的な問題は、自宅学習でじっくりと考えて解くように心がける。				
4. 評価の方法 〔評価の観点〕 a. 知識・技能 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。 b. 思考力・判断力・表現力 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 c. 主体的に学習に取り組む態度 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 〔評価の方法〕 上記の評価の観点に基づき、以下の①～④を総合的に評価する。 次の①～④を総合的に判断して評価する。 ① 定期テスト ② 実験レポート ③ 副教材・プリント課題等がきちんと提出されているか。また、整理されているか。 ④ 日々の授業態度				

5. 使用する教科書・副教材

教科書：「高等学校 化学基礎」(第一学習社)

副教材：「ネオパルノート 化学基礎」「セミナー化学基礎」(第一学習社)

「ニューステージ化学図表」(浜島書店)「化学実験ノート」(沖縄化学教育研究会)

6. 進路とのかかわり

○大学入学共通テストでは、一般に基礎科目は2科目選択する。理系学部学科の中には化学基礎の選択を義務づける場合があるので、大学の募集要項で必ず確かめること。

○理学部・医学部・農学部・工学部（一部）・教育学部（理数系）の個別学力試験で必修または選択科目として指定される。